

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2020年7月10日

No 391

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

三菱電機株主総会で追求

三菱電機本社で宣伝行動

6月26日(金)7時30分から8時30分、三菱電機本社宣伝行動(右写真)を行いました。2箇所に10人が参加して電機懇と電機・情報ユニオンのぼりを立て、森書記長がハンドマイクで訴え、出勤者が少ない中で60人が受け取りました。



株主総会会場前で宣伝行動

本社前から移動して9時から10時迄、株主総会会場前で熊谷茂樹さん(三菱電機派遣切り争議を勝たせる会世話人)司会で行われ、最初に電機・情報ユニオンの米田徳治委員長(下写真)が、契約途中での派遣切りと働かせ方などでの違法性を指摘し、大卒の新入社員が自殺に追い込まれた企業体質と告発し、株主総会議案書に労働問題でのリスクを掲載しており、早期の解決を訴えました。続いて、株主として出席する本田さんと長沢さんが追求する内容とユニオンの森書記



長がこの争議を解決させる迄闘う決意を表明しました。

宣伝行動は、2箇所に13人が参加して出席者が少ない中で75人が受け取りました。

株主総会で争議解決を追求

株主総会には本田直子、長澤やよいが出席しました。会場は、大きく間隔を開けた椅子に、63名の株主が出席。冒頭、杉山社長は短時間で終了するための協力を求め事業報告、経営戦略など簡潔に終わる。質疑応答では、事前に提出した質問状と6名の質問に回答が

ありました。

会場内で本田が労務問題での新聞報道で新入社員の相次ぐ自殺について「社長が当社の体質とは考えていない」の発言には違和感を覚える。社外取り締まり役のアドバイスや再発防止、進捗状態について質問。回答は、労務問題は心配をかけている。再発防止に向けて、最優先課題として職場風土改革プログラムを中心にとりくんでいくと回答。また長澤質問に対し「女性の活躍は重要な課題、能力を発揮できる環境にしていく」との回答だったが、内容は課長以上の管理職は68名、管理職全体に占める割合は3.9%というものでした。

今年の株主総会は、6名の株主の内4名が三菱電機の体質を厳しく問う発言であった。朝日新聞の取材を受け、記事の後段のほうに「名古屋からきた女性株主」のインタビュー記事も載っています。今後の会社のあり方をしっかり見て、闘いに生かしたい。

(長澤やよい)

今月号の紙面

- ①三菱電機株主総会行動
 - ②NECと沖電気の株主総会行動
 - ③日立金属桑名でリストラアンケート
 - ④新型コロナ問題で日立労組に要請
 - ⑤ルネサス懇「第10回総会」開催
 - ⑥ラプラス「自分史」村田さん
 - ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
 - ⑧「リストラ反撃交流集会」案内
- からむすの原稿を。集積回路